

Remnant (レムナント) 運動



イザ 6:13 そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビンの木や樅の木が切り倒されるときのように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。

1. Remnant の意味を調べてみましょう

- 1) 根はキリスト (神様の契約) です
- 2) 切り株は 福音と真理 (残りの者) を意味します
- 3) 新芽は次世代 (残る者) を意味します
- 4) 木は証人 (残れる者) を意味します
- 5) 森は伝道運動 (残す者) を意味します

2. RUTC運動を調べてみましょう

- 1) R は Remnant (次世代) を意味します
- 2) U は Unity (ワンネス) を意味します
- 3) T は Training (ともに) を意味します
- 4) C は Center (集中) を意味します

3. 聖書には第1, 2, 3RUTC運動を実現した記録があります

- 1) 第1 RUTC運動は集まる運動でした
— 申 6:4~9、I サム 7:1~15、II 列 6:8~24、イザ 62:6~12
- 2) 第2 RUTC運動は散らされる運動でした
— 使 17:1、18:4、19:8
- 3) 第3 RUTC運動はいやしとサミットです



聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

- 聖書
- 献金
- 筆記用具
- 子どもの祈りの手帳
- 週報を読む



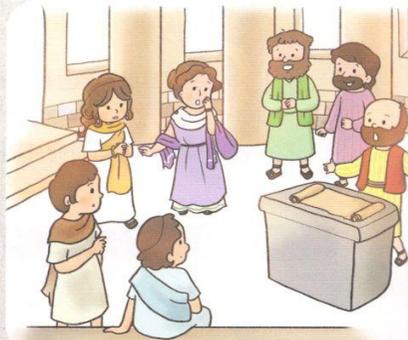
タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題

テサロニケの会堂運動



使 17:1~9 彼らはアムピポリスとアポロニヤをとおって、テサロニケへ行った。そこには、ユダヤ人の会堂があった。パウロはいつもしているように、会堂に入って行って、三つの安息日にわたり、聖書に基づいて彼らと論じた。そして、キリストは苦しみをうけ、死者の中からよみがえらなければならないことを説明し、また論証して、「私があなたがたに伝えているこのイエスこそ、キリストなのです」と言った。(1~3)

1. パウロが第2次伝道旅行の中でどどまったところがテサロニケです

そこはとても発展した地域でした

- 1) アレクサンダー王の腹違いの妹の名前にちなんだ名の都市です
- 2) ローマの属州*だったマケドニアの都市です
- 3) ユダヤ人がたくさん住んでいたところで

2. そこで、会堂運動が起きました

- 1) 三つの安息日に福音をあかししました
- 2) イエス・キリストの当為性を伝えました
- 3) 伝道者の規定に従って福音を伝えました

3. テサロニケ教会の始まりは違いました

- 1) ギリシヤ人と貴婦人までみんなが集まって礼拝をささげました (使 17:4)
- 2) ヤソンがパウロを助けました (使 17:6)
- 3) ヤソンはパウロを助けたという理由で迫害されました (使 17:5~9)

*属州：古代ローマの本国以外の領土のこと

★ れいはい

聖日(主の日)のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です

神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

🕒 礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

📖 聖書 💰 献金 📝 筆記用具 📅 <子どもの祈りの手帳> 📰 週報を読む



タイトル

聖書箇所

.....

.....

.....

.....

.....

📖 今週握るみことば

🙏 今週の祈りの課題

.....

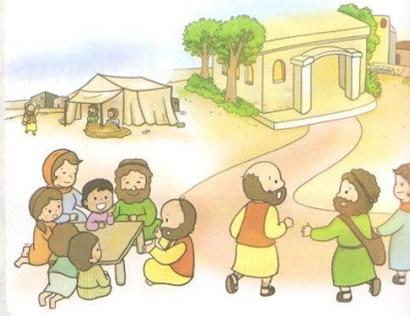
.....

.....

.....

★ がくいんふくいんか
3か

コリントの会堂運動



使 18:4 パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人とギリシヤ人を承服させようとした。

1. 伝道者と出会いの祝福がありました

- 1) マルコの屋上の間に 15 か国の重職者が集まりました (使 2:10)
- 2) パウロは時代を生かす伝道者として神様の選びの器でした (使 9:10、15)
- 3) コリントで伝道者パウロとプリスキラ、アクラ夫婦が出会いました (使 18:1~3)

2. 伝道者と伝道弟子がともに会堂運動をしました

- 1) 安息日ごとにパウロは会堂で論じ、ユダヤ人とギリシヤ人を承服させようとした (使 18:4)
- 2) プリスキラ、アクラ夫婦はアポロに正確な福音を伝えました (使 18:24~28)

3. コリント教会が始まりました

- 1) 伝道者パウロと伝道弟子プリスキラ、アクラ夫婦の出会いによって始まりました (使 18:1~4)
- 2) 伝道弟子プリスキラ、アクラ夫婦を通してミッションホームが立ちました (I コリ 16:19)
- 3) 伝道者のための切なる祈りが必要です (II コリ 1:11)



聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

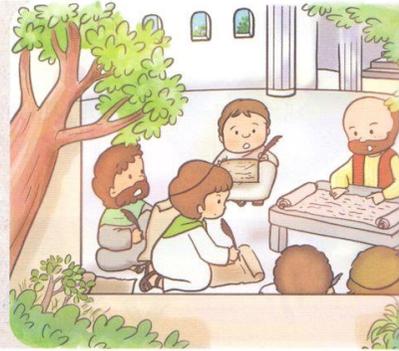
今週握るみことば

今週の祈りの課題

Blank writing area for notes and prayers, divided into two columns by a central binding.

がくいんふくいんか
4か

ツラノの会堂運動



使 19:8~10 それから、パウロは会堂に入って、三か月の間 大胆に語り、神の国について論じて、彼らを説得しようと努めた。しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。これが二年の間続いたので、アジャヤに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。

1. マルコの屋上の間の働きが持続されました (使 1:8)

- 1) 五旬節の日にマルコの屋上の間に聖霊の満たしの働きが現れました (使 2:1~13)
- 2) アンテオケ教会を通してパウロとバルナバが最初の宣教師として宣教旅行に出発しました (使 13:1~4)
- 3) パウロがイエス・キリストの御名で祈るとき、12人に聖霊の満たしの働きが現れました (使 19:1~7)

2. 会堂運動が起きました (使 19:8)

- 1) パウロが会堂に入りました
- 2) 三か月の間 大胆に語り、論じて説得しようと努めました
- 3) 神の国についてのことでした

3. パウロがツラノ講堂でみことば運動を広げました

- 1) ある者たちが、心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前でイエス・キリストの道をののしりました (使 19:9)
- 2) パウロは弟子たちをも退かせました (使 19:9)
- 3) そして毎日、ツラノ講堂で2年間みことばを集中して教えました (使 19:10)

れいはい

聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

聖書 献金 筆記用具 <子どもの祈りの手帳> 週報を読む



タイトル

聖書箇所

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes.



今週握るみことば

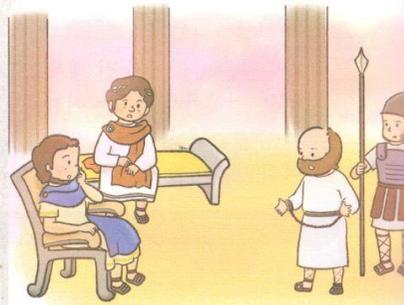


今週の祈りの課題

Blank writing area with horizontal dashed lines for notes, divided into two columns by a vertical line.

がくいんふくいんか
5か

ローマ福音化運動



使 19:21 これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニアとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私 はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

1. 主の前に立ったレムナントがいます

- 1) 神の霊の宿る者であったヨセフはパロ王の前に立ちました (創 41:38)
- 2) モーセは血のいけにえの契約を握って、パロ王の前で10のわざわいを砕く奇跡を見せました (出 5:1~12:46)
- 3) 神様の霊がともにおられたので、ダビデが立琴を弾くときサウル王を苦しめる悪霊が離れました (Iサム 16:23)
- 4) エリヤはアハブ王とイゼベルが立てたいつわりの預言者たちとの霊的戦いに勝利しました (I列 18:1~40)
- 5) エリシャは2倍の力でアラム王が送った軍隊を退けました (II列 6:8~24)
- 6) ヒゼキヤ王は主なる神様に祈り、アッシリヤ軍に勝ちました (II列 19:1~35)
- 7) ダニエルと3人の青年、エステルは、王の前に立ちました

2. 主の前に立ったレムナントの契約がありました

- 1) ローマ福音化は時代を生かす道でした (使 19:21)
- 2) 強大国ローマでもあかししなければなりません (使 23:11)
- 3) 恐れなくてカイザルの前に立つべきです (使 27:24)

3. 世界福音化するレムナントは、3つを準備すべきです

- 1) 私のタラントを見つけて、専門家の答えを受けるべきです
- 2) 私がする勉強と仕事を世界化することです
- 3) しかし、もっとも重要なことは、私が福音化されることです



聖日 (主の日) のために、
礼拝の準備をして礼拝をささげみことばを
私の生活に適用することまで、すべてが礼拝です



神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって
礼拝しなければなりません。(ヨハネ 4:24)

礼拝時間に必要なものを準備できたかチェックするのに使ってください

- 聖書
- 献金
- 筆記用具
- <子どもの祈りの手帳>
- 週報を読む



タイトル

聖書箇所

今週握るみことば

今週の祈りの課題
